

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～28℃台を示し、平年に比べやや高め～かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の6倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり5kgの水揚げで、前週の2.5倍（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり0.8kgの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり130kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり7.4トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり389kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり47kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カマスなどが1日1統当たり147kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり196kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/14～9/19の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、ロシア海域～大和堆周辺で操業。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）では5日延99隻、総計10,383箱、1航海最高267箱、平均104.9箱。スルメイカ（20～30入）5,007箱、ケンサキイカ（2～4立）5,376箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-19号 6県ケンサキイカ情報（令和5年度 第4号）」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>